

会 議 事 録

1 会議名	平成30年度長岡市地方創生推進会議幹事会
2 開催日時	平成30年5月22日（火）午後1時30分から午後2時30分まで
3 開催場所	アオーレ長岡 東棟4階 大会議室
4 出席者名	<p>（委員）（敬称略）</p> <p>長岡商工会議所 事務局次長 長谷川 和明 長岡地域商工会連合 栃尾商工会 事務局長 武士俣 利一 長岡技術科学大学 総務課長 泉田 寛徳 長岡工業高等専門学校 事務部長 大澤 和美 長岡造形大学 事務局長 久島 芳尚 大光銀行 地域産業支援部 副部長 藤田 浩一 第四銀行 コンサルティング推進部 担当部長 村山 徳裕 第四銀行 長岡営業部 法人営業第2課長 宮島 大輔 長岡信用金庫 常務理事 佐藤 光一 新潟県信用組合 長岡支店 支店長 大屋 壮 日本政策金融公庫 長岡支店 支店長 横田 剛 北越銀行 ソリューション営業部 副部長 樺澤 正直 連合新潟中越地域協議会 事務局長 小林 守</p> <p>（事務局）</p> <p>長岡市</p> <p style="padding-left: 40px;">地方創生推進部長 渡邊 則道</p> <p style="padding-left: 80px;">政策企画課 課長 茂田井 裕子</p> <p style="padding-left: 80px;">政策企画課 課長補佐 河上 雄一</p> <p style="padding-left: 80px;">政策企画課 係長 林 智和</p>

	<p>(説明のために出席した市担当者)</p> <p>長岡市</p> <p>政策企画課 シティプロモーション担当課長 齊藤 真紀 ながおか・若者・しごと機構推進課 課長 五十嵐 正人 広報課 課長 高野 徹也 地域振興戦略部 地域振興戦略担当課長 上村 建史 産業イノベーション課 課長(事務取扱) 長谷川 亨 産業支援課 課長 里村 誠 観光企画課 課長補佐 今井 重伸 観光事業課 課長補佐 野澤 由香 農水産政策課 錦鯉ブランド戦略室長 戸田 幸正 地域建設課 課長 太刀川 芳則 地域建設課 係長 平沢 守</p>
5 欠席者名	<p>長岡公共職業安定所 長岡大学</p>
6 議事	<p>(1) 長岡リジュベネーションの中間評価について(資料1) (2) 地方創生関連の交付金等の効果検証について(資料2)</p>
7 報告	<ul style="list-style-type: none"> ・ NaDeC(ナデック)構想について(資料3) ・ ながおか・若者・しごと機構の活動について(資料4) ・ 長岡市地元就職・インターンシップ推進協議会について(資料5)
8 審議結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 議事(1)については、中間評価を説明し、効果検証と意見交換が行われた。 ・ 議事(2)については、平成29年度事業を説明し、効果検証と意見交換が行われた。 ・ その他、報告については、各事業を説明し、意見交換が行われた。
8 審議の内容	
事務局・政策企画課課長補佐	<p>ただいまから、平成30年度長岡市地方創生推進会議 幹事会を開催いたします。</p> <p>本日の会議は公開となっております。後日、ホームページ等で議事録を公開することを、あらかじめご承知置きください。</p> <p>幹事会出席者様につきましては、お手元の名簿に代えさせていただきます。</p>

<p>地方創生推進部長</p>	<p>それでは、開会にあたり、長岡市地方創生推進部長の渡邊が挨拶申し上げます。</p> <p>(渡邊地方創生推進部長あいさつ)</p>
<p>事務局・政策企画課課長補佐</p>	<p>それでは、議事に移らせていただきます。</p> <p>まず、長岡リジュベネーションの中間評価について、説明いたします。</p>
<p>事務局・政策企画課長</p>	<p>(資料 No. 1 に基づき説明)</p>
<p>事務局・政策企画課長補佐</p>	<p>今ほどの説明に対して、ご質問等ありましたらご発言ください。</p>
<p>委員</p>	<p>金融機関として、普段から市とは、仕事の面でのお手伝いということが多くという理解のもとで日々活動させていただいているつもりです。</p> <p>今、14ページの「働く」というところですが、農林水産業の部分で、ある関係者から最近聞いた話です。長岡には、酒造や味噌醤油などの醸造メーカー様も数あると思うんですけど、テーマと同様に担い手さんがいなくて、お米の仕入れ、小麦の仕入れ先にだいたい難儀はじめていらっしゃるというところなんです。なかには、市内の酒造メーカーさんが、お米から作り始めていらっしゃるということなんです。醸造メーカーさんから、小麦の入手が困難になりはじめていて、何とかかならないかなという声も聞こえてくるので、行政からも支援いただけるといいのかなと思い、意見としてあげさせていただきました。</p>
<p>委員</p>	<p>わかりやすい説明いただきましてありがとうございました。</p> <p>今ほどの話とかぶるところもあるかもしれないんですけど、14ページの戦略4の「働く」というところなんです。</p> <p>市内の事業所数とか従業員数の減少傾向に歯止めをかけ、現状の従業員者数を維持しますという動き、こういった活動は大変重要な活動だと思っています。</p> <p>一方で、平成28年の帝国データの統計によると、新潟県の廃業率</p>

	<p>は2.36%で、残念ながら全国で最下位の数値でして、一方で創業の率も下位に甘んじてる。私ども地域の金融機関としても大変責任を感じる場所であるんですけども、廃業が多いというのは決して県内の経営者の経営能力がないというわけではなく、むしろ優れた経営者がいっぱいいらっしゃるということです。</p> <p>明治元年からずっと商売をしている会社が全国で56社あって、これは新潟日報さんによれば、全国で一番だそうです。従って自分で商売を辞めたい、跡継ぎがないので辞めざるを得ない方もいらっしゃると思うんですけど、そういった方と今現在、商売を続けていらっしゃる方で引継いでもいいといった方と結びつけるとか、あるいは、新たに創業される方で廃業される方の事業をそのまま引き継ぐというケースも想定されると思うんですね。その部分は、地域金融機関にも横の連携というのにも必要なんですけども、行政さんとも強い連携を図ってお互いに情報共有して、何らかの形でサポートできればなという風に思っております。</p> <p>創業については新たな取り組みを長岡市さんのほうも考えていらっしゃるようですけども、ぜひそういった取り組みのところで連携させていただければと思いますのでよろしくお願いいたします。</p>
<p>事務局・政策企画課課長補佐</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>つづきまして、地方創生推進関連の交付金等の効果検証に移らせていただきます。</p>
<p>事務局・政策企画課課長</p>	<p>(資料 No. 2 に基づき説明)</p>
<p>事務局・政策企画課課長補佐</p>	<p>今ほどの説明に対して、ご質問等ありましたらご発言ください。</p>
<p>委員</p>	<p>私ども金融機関はですね、先ほどの金融機関の方の話もありましたけども、創業支援に注目しておりますが、起業家を育てるのは非常に難しいと感じておまして、重要なのは起業をするための支援、起業をした後の支援が重要で、若い方が起業をしたくなるような土壌を早くから作っていくという起業家教育が有効なんじゃないかと思っております。当然これは、短期的に起業家を育てるわけじゃなくて長期的に育てていくという部分で、行政、金融、学校の方などが一体となって</p>

	<p>やっていく必要があります。</p> <p>私どもでは、6年前から高校生ビジネスプランコンテストを全国的に開催しておりまして、述べ全国400校位の高校生からビジネスプランを練って頂いて、エントリーは9月下旬位なんですけど翌年の1月に東京大学でグランプリを決めるコンテストを開いています。高校生の時から起業家になるためにはどうするんだという意識を持ってもらうことは、特に女性には効果的なのかなと思います。</p> <p>市内のお子さんで、ぜひエントリーしていただければと考えていますので、ぜひご検討願います。</p> <p>10歳から39歳の転出超過の抑制というところで、年度ごとに抑制の効果が出ていると拝見させていただきました。</p> <p>よく学生さんが、地元の大学を出たのに首都圏の方に行ってしまうという話を聞くわけですが、地元の企業を知らないケースが多いようです。</p> <p>大学生のインターンシップで、金融機関として学生さんを地元の企業さんへお連れしたりするような活動をしているのですが、大学になって初めてこの会社を知ったというような事例が多くて、長岡市内の素晴らしい会社、企業があるのですが、残念ながら小学生、中学生の段階でその企業を知らない子ども達が多いのかなと思っています。</p> <p>従って、小さい時から地元の企業さんを訪ねるような機会を作ってやるとか、同時に親御の世代も新潟県、長岡市内には素晴らしい会社が一杯あるという啓発、情報発信をすることによって、転出の抑制というのが可能になるのではと思っております。</p> <p>その辺、金融機関との連携を図りながら取り組み等をご検討していただけたらと思います。</p>
<p>委員</p> <p>地方創生推進部長</p>	<p>貴重なご意見ありがとうございました。</p> <p>後ほど資料で、インターンシップについて説明させていただきますし、ながおか・若者・しごと機構でも子どもたちが長岡で働く魅力を感じることができるように、こども仕事体験ランドという取り組みを2回開催しておりまして、長岡の企業を紹介しながら色んな業種を体験できるものやっております。そういった活動を通して、起業や就職といった機運を醸成させていきたいと思っています。</p>

<p>委員</p>	<p>感想になるかと思いますが、私も資料を拝見して、地域の宝を磨き上げるのはいいなと感じまして、これが全ての色々な事の関連にできるのかなと思いました。</p> <p>全ての事業の頭に理念として、地域の宝を磨きあげるというワードを付けるのがいいのかなと感じました。トップにかかげる言葉、ワードがあって、その中の1つが歴史文化かも知れないし、子どももそうかも知れないし仕事もそうだし、先ほどの素晴らしい企業も1つかもしれない。</p> <p>こんな建付けにしたらというのは、ここに住んでる人や勤める人たちが「おらの町、地元を磨きあげなくては」という空気感ができてくる。例えば観光では、地元の人が、観光者や県外から来た人への気持ちとして、1つの理念につながると思います。こういうキーワード、この言葉自体素晴らしいと感じたので、こういうものがあるといいのかなと感じました。</p>
<p>地域振興戦略部 地域振興戦略担当 課長</p>	<p>大変良いご意見を頂戴しました。</p> <p>私どもの地域の宝の磨き上げというのは、今ほどのご意見にもございましたが、どうしても表にでてしまうのが、観光交流振興拡大というのがでてしまうんですけども、もともと長岡市で取り組んでいるのが、磨き上げの活動そのものを通して、地域のコミュニティを強化したりとか、あるいは子ども達への地域の文化の継承とか、波及効果として交流人口の増加といったものを多面的に見据えて取り組んでいるものです。</p> <p>地域の宝自体は、今現在、長岡市周辺の宝、22を指定して磨き上げに取り組んでいますけど、委員のおっしゃるように、もう少し濃い意味で言えば地域に様々な宝がありますので、こういったものを見出して、磨き上げをかけて、つないでいくといったことを通して、長岡市全体の交流人口拡大、地域の活性化を図っていきたいと考えています。</p> <p>色々なところで地域の宝というキーワードを出して、これからも取り組んでまいりたいと考えております。</p>
<p>事務局・政策企画 課長補佐</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>以上で議事を終了します。</p>

産業イノベーション課長	<p>続きまして、報告事項に移ります。</p> <p>3つ続けて説明し、まとめて質問を受けたいと思います。</p> <p>まず、はじめにナデック構想について、長岡市商工部産業イノベーション課より説明をお願いします。</p> <p>(資料 No. 3 に基づき説明)</p>
事務局・政策企画課長補佐	<p>続きまして、ながおか・若者・しごと機構の活動について、長岡市地方創生推進部ながおか・若者・しごと機構推進課より説明をお願いします。</p>
ながおか・若者・しごと機構推進課長	<p>(資料 No. 4 に基づき説明)</p>
事務局・政策企画課長補佐	<p>続きまして、長岡市地元就職・インターンシップ推進協議会について、長岡市商工部産業支援課より説明をお願いします。</p>
産業支援課長	<p>(資料 No. 5 に基づき説明)</p>
事務局・政策企画課長補佐	<p>今ほどの説明に対して、ご質問等ありましたらご発言ください。</p>
委員	<p>商工会議所の会員企業は2400位ありまして、人手不足というのが問題となっております。優秀な人材を取りたくて、求人を出してもなかなか応募がない。そこで、若者に定着してもらって、企業の魅力を知ってもらってということで協議会を立ち上げましょうということになりました。インターシップは1つの手段であって、1番は企業を知ってもらって、そこへ就職してもらおうというところがあります。3大学1高専のほか、高校校長会にも入っていただいております。</p> <p>先ほど指摘があったとおり、小・中学校もやるべきではないかという意見もありましたが、実際中学2年生で職場体験をやっていて、小学生も学区の企業の社長の話を聞いたり現場に行ったりしています。</p> <p>このキャリア教育というのも、10年15年前からやっているの、</p>

<p>事務局・政策企画 課長補佐</p>	<p>本当はその時にやった子ども達は、もう社会人になっているので、それでも成果がないとするならば、今のやり方では不足なのか、違うやり方じゃないと実際の就職にはつながってないのかなということになるので、教育委員会の範疇になるのかなと思います。</p> <p>なので、商工会議所としては、もう少し就職に近い大学生や高校生位をターゲットにして、企業の情報を伝えるような手段を心がけていきたいと考えています。</p> <p>あと、ナデック構想の話も一緒にやらさせていただくわけですが、大学、高専は盛り上がっていますが、いかに企業をここに巻き込んでいくかという課題です。</p> <p>産学連携もずっと前から言われていて、うまくやっている企業もあるのですが、一般の企業にとってはハードルが高いのが実際のところなので、いかにナデック構想をきっかけに企業を絡ませていくことができるのか、我々商工会議所としての使命かなと思っています。</p> <p>ぜひ皆さんの力を借りながら、学生と企業、あるいは学校と企業を近づけようとやっていきたいと思いますので、よろしくお願いします。</p> <p>以上で報告を終了します。</p> <p>続いて、その他について、みなさまからご意見等がありますでしょうか。</p> <p>(意見なし)</p> <p>それでは、今後のスケジュールについて説明いたします。</p>
<p>事務局・政策企画 課長</p>	<p>本日はありがとうございました。</p> <p>今後のスケジュールについて説明します。</p> <p>国は、地方創生にあたり産官学金労言によるP D C Aサイクルを求めています。今日もそのなかでの開催でしたけれども、毎年、同様の会議を開催したいと思っています。時期については、この時期になるとは思いますが、引き続き、ご協力をお願いします。</p>
<p>事務局・政策企画 課長補佐</p>	<p>今ほどの説明に対して、ご質問等ありましたらご発言ください。</p> <p>よろしいですか。</p> <p>本日は、貴重なご意見等ありがとうございました。</p>

	<p>これもちまして、平成30年度長岡市地方創生推進会議 幹事会を閉会いたします。</p> <p>ありがとうございました。</p>
<p>9 会議資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 次第・出席者名簿 ○ 長岡版総合戦略 長岡リジュベネーション概要版 ○ 資料1 長岡リジュベネーションの中間評価について ○ 資料2 地方創生関連の交付金等の効果検証について ○ 資料3 NaDeC（ナデック）構想について ○ 資料4 なおか・若者・しごと機構の活動について ○ 資料5 長岡市地元就職・インターンシップ推進協議会について 	